

関連のない警備会社に出向！ 建設現場でのガードマン!?

京都駅のJ R東海労働組合員が2月1日付けで出向に出ます。ところが、出向先は「タイガー警備保障」というJ R東海とまったく関連のない警備会社で、業務内容が「建設現場での安全誘導」といったものです。

タイガー警備保障には、大阪仕業検査車両所分会のJ R東海労働組合員と新大阪駅の国労働組合員の2名も、2月1日付けで出向に出ます。

現在、関西支社における運輸所を除く職場では、59才の社員のほぼ全員が出向に出ています。しかし、これまでの出向先は、J R東海の関連会社で今回のようなまったく関連のない警備会社への出向はありません。

関連会社では人手不足！ しかし、関連のない警備会社に出向！

関連会社のサービック（引き上げ線）は人手不足になっていて、休日出勤で対応していると言われていています。新大阪駅からも、昨年10月に59才の組合員がサービックへ出向に出ています。

しかし、今回の出向先はJ R東海とまったく関連のない警備会社です。業務内容は「建設現場での安全誘導」としか言われていませんが、建設現場という屋外での作業となり、トラックなどの工事車両が行き交う現場での危険を伴う作業が想定されます。

今回の警備会社への出向を決めた会社の理由はわかりません。しかし、いかなる理由があつたとしても、関連会社が人手不足という状況があるなかで、まったく関連のない警備会社への出向は問題です。

警備会社へ出向に出る3名は、40年間にわたり国鉄とJ Rで日夜安全・安定輸送に努力・貢献してきた社員です。仕事に貴賤はないと言われてますが、今回の出向先である警備会社での労働条件や職場環境を想定すれば、3名の社員の長年にわたる努力・貢献を一切無視したまったくもって理不尽な出向と言えます。

会社は、J R東海の出向先としての整合性がない警備会社への出向を中止して、関連会社への出向に変更すべきです！